

埋立処分場のうつついかわり

ちゅうおうぼうはていそとがわうめたてしょぶんじょう

中央防波堤外側埋立処分場

ちが
～どんな違いがあるのかな?～

うめたてしょぶんじょう なが つか
埋立処分場を長く使うため
に、平成9年からは、ごみを
燃やしたり、細かくくだい
たりしてから埋め立ててい
ます。



へいせい ねん
平成7年



げんざい ようす
現在の様子



14号地 (江東区夢の島)

「夢の島」の埋め
立ては、昭和42年
に終わり、現在は
公園や運動場とし
て使われています。



15号地 (若洲)

「若洲」の埋め立て
は、昭和49年に終わ
り、現在はキャンプ場
やゴルフ場などとし
て使われています。



中央防波堤内側埋立地

現在は「海の森公園」となり、さまざまな樹木
や生きものが暮らす緑豊かな環境が育まれて
います。



しゃしんていきょう とうきょうとうこうわんきよく
(写真提供:東京都港湾局)

エステージーズ

「SDGs」ってなんだろう? ~ ⑫ できることから始めよう ~

「つくる責任つかう責任」では、「将来世代まで継続的に生産・消費をしていきま
しょう」という、作る側(生産者)も使う側(消費者)も将来を見据えて行動することが
求められています。たとえば、商品を作る人たち(生産者)は、商品を作る途中
で出るごみを減らす、売れ残ってごみにならないように作りすぎない、過剰な包装をしない
などの工夫する必要があります。一方で商品を買う人たち(消費者)は、食べきれない
量を買わない、過剰な包装やレジ袋を断るなどごみを減らす努力が必要となります。

この他にも余分なものを買わなかったり(リデュース)、小さくなった洋服を他の人にゆずったり(リ
ユース)、ごみと資源の分別をしっかりと行ったり(リサイクル)、身近にできることがたくさんあります。
SDGsの17の目標の一つひとつはとても大きな目標ですが、できることから取り組んでいきましょう。

